

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社fonfun

コード番号 2323 URL <http://www.fonfun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部部長

(氏名) 八田 修三

TEL 03-5357-0303

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	331	△15.8	15	△62.2	18	△47.6	18	△80.0
24年3月期第2四半期	394	△25.7	40	△23.0	35	△34.8	90	119.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 18百万円 (△77.9%) 24年3月期第2四半期 81百万円 (91.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.88	—
24年3月期第2四半期	34.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	858	364	42.5
24年3月期	880	346	39.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 364百万円 24年3月期 346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	765	0.2	72	△7.7	64	△5.5	63	△67.4	24.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	2,661,720 株	24年3月期	2,661,720 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	41,388 株	24年3月期	41,058 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	2,620,478 株	24年3月期2Q	2,620,985 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本等の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、引き続き底堅さもみられるものの、世界景気の減速等を背景として、弱めの動きとなっております。当面は弱めの動きが続くと見込まれており、復興需要が引き続き発現するなかで、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待されますが、欧州や中国等、対外経済環境を巡る不確実性が高く、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動等が、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループを取り巻く環境に関しては、業界再編、ビジネスモデルの変化など引き続き大きな変革期の只中にあります。携帯電話市場に関しては、平成24年9月末における携帯電話・PHSの契約数は132,171,900件（前年同月比3.8%増 社団法人電気通信事業者協会調べ）であり、携帯契約総数の大幅な拡大が望めない中、既存携帯端末からスマートフォン端末への移行が急速に進んでおります。その影響で携帯通信事業各社の契約数のシェアにも変化が現れており、また、携帯通信事業各社ごとにスマートフォン上でのコンテンツ提供戦略に違いもあり、コンテンツ市場の構造も変化を強いられています。

このような状況の下、当社グループは、スリム化した体制で主力事業であるリモートメール事業に経営資源を集約し、収益を維持しつつ、新たなコンテンツサービスの開発を進めてまいりました。

当社グループの各セグメント別の業績は次のとおりであります。

①リモートメール事業

「リモートメール」個人版サービスにつきましては、既存利用者の利用継続を第一目的に、他社サービスに対して優位性のある使い勝手のよさをさらに向上させる改善を継続して実施しております。既存携帯端末からスマートフォンへの買い替えの際に契約が引き継がれ、既存利用者の継続利用を促す施策を強化しました。また、既存携帯端末に加えスマートフォンを対象に、携帯電話販売店舗における販促活動を進めてまいりました。

「リモートメール」法人版サービスにつきましては、引き続き営業活動を強化し顧客獲得に取り組んでおります。既存顧客からの紹介、新規顧客へのアプローチ方法の強化など販路拡大に努め、順調に契約者数を伸ばしております。

また、光通信グループの携帯電話販売店にて販売している、当社子会社・株式会社FunFusionを販売元とする「モバイル活用パック」も引き続き売り上げに寄与しております。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は 305百万円(前年同期比15.5%減)、営業利益は78百万円(前年同期比22.6%減)となりました。

②コンテンツ事業

携帯電話向けコンテンツにつきましては、利用継続率の高い便利・ツール系サービスに絞り、携帯販売店での販促活動を中心に利用者の獲得をしております。

また、iPhone及びAndroid対応コンテンツの開発を積極的に進め、自社提供及び協業モデルでの展開を図っております。

上記の結果、コンテンツ事業の売上高は 23百万円(前年同期比17.0%減)、営業損失は5百万円(前年同期 営業損失5百万円)となりました。

③その他

その他の売上は、主に過去に発売した家庭用ゲーム機向けパッケージソフトのリピーター受注販売によるものであり、売上高は2百万円（前年同期比24.6%減）、営業損失は3百万円（前年同期営業利益0百万円）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 331百万円（前年同期比15.8%減）、営業利益 15百万円（前年同期比62.2%減）、経常利益18百万円（前年同期比47.7%減）、四半期純利益18百万円（前年同期比80.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は858百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円の減少となりました。その主な要因は、流動資産における現金及び預金の増加36百万円、売掛金の減少34百万円、未収入金の増加71百万円、投資その他の資産における投資有価証券の売却による減少86百万円であります。

負債の部は493百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円減少しております。主な要因は、短期借入金の減少55百万円、長期借入金の増加41百万円、未払金の減少24百万円等であります。

純資産は364百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円の増加となっております。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は37百万円(前年同四半期連結累計期間は113百万円の収入)となりました。この主な要因は税金等調整前四半期純利益の計上18百万円、減価償却費の計上10百万円、売上債権の減少34百万円の資金増に対し、未払金の減少22百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は13百万円(前年同四半期連結累計期間は7百万円の収入)となりました。この主な要因は、投資有価証券の売却による収入15百万円、貸付金の回収による収入12百万円、有形固定資産の取得による支出9百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は13百万円(前年同四半期連結累計期間は17百万円の支出)となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出14百万円、短期借入金の純増額1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年11月12日に発表を致しており、当社及び子会社の現時点での予測に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	475,767	512,437
売掛金	176,198	141,873
製品	80	51
繰延税金資産	35,841	35,841
短期貸付金	6,120	4,680
未収入金	—	71,179
その他	14,157	13,409
貸倒引当金	△11,903	△10,268
流動資産合計	696,262	769,204
固定資産		
有形固定資産	38,944	36,796
無形固定資産		
のれん	3,323	1,107
ソフトウェア	6,575	5,408
ソフトウェア仮勘定	1,592	1,500
無形固定資産合計	11,491	8,016
投資その他の資産		
投資有価証券	86,001	0
長期貸付金	2,320	680
長期未収入金	1,373,897	1,363,435
その他	21,551	22,453
貸倒引当金	△1,349,610	△1,342,485
投資その他の資産合計	134,160	44,083
固定資産合計	184,596	88,896
資産合計	880,859	858,101
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,153	3,816
短期借入金	298,760	243,680
未払金	72,773	47,831
未払法人税等	4,444	3,950
賞与引当金	3,675	—
偶発損失引当金	9,000	9,000
その他	5,501	8,816
流動負債合計	400,306	317,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債		
長期借入金	121,300	162,500
退職給付引当金	11,576	13,956
その他	1,092	—
固定負債合計	133,968	176,456
負債合計	534,275	493,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242,605	2,242,605
資本剰余金	636,561	636,561
利益剰余金	△2,359,437	△2,341,415
自己株式	△173,326	△173,382
株主資本合計	346,401	364,367
新株予約権	182	182
純資産合計	346,584	364,549
負債純資産合計	880,859	858,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	394,085	331,957
売上原価	60,799	55,081
売上総利益	333,285	276,875
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	125,412	102,210
販売促進費	457	404
支払手数料	74,807	59,871
役員報酬	9,360	15,121
給料及び手当	41,208	39,711
地代家賃	5,277	5,426
貸倒引当金繰入額	2,150	1,991
その他	33,980	36,797
販売費及び一般管理費合計	292,654	261,535
営業利益	40,631	15,340
営業外収益		
受取利息	1,620	1,610
貸倒引当金戻入額	—	7,518
その他	277	175
営業外収益合計	1,898	9,303
営業外費用		
支払利息	6,079	5,512
その他	1,383	773
営業外費用合計	7,462	6,286
経常利益	35,067	18,357
特別利益		
偶発損失引当金戻入額	14,528	—
投資有価証券売却益	—	738
貸倒引当金戻入額	67,509	—
その他	2,475	—
特別利益合計	84,513	738
特別損失		
固定資産除却損	—	210
偶発損失引当金繰入額	16,054	—
業務委託契約解約損	5,000	—
訴訟関連損失	9,480	—
貸倒引当金繰入額	6,756	—
特別損失合計	37,290	210
税金等調整前四半期純利益	82,290	18,885
法人税、住民税及び事業税	565	863
法人税等合計	565	863
少数株主損益調整前四半期純利益	81,725	18,021
少数株主損失(△)	△8,487	—
四半期純利益	90,213	18,021

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	81,725	18,021
四半期包括利益	81,725	18,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,213	18,021
少数株主に係る四半期包括利益	△8,487	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	82,290	18,885
減価償却費	11,996	10,288
のれん償却額	—	2,215
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△60,786	△7,597
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,388	2,380
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,146	△3,675
不正事件関連損失引当金の増減額 (△は減少)	△21,430	—
偶発損失引当金の増減額 (△は減少)	1,878	—
受取利息及び受取配当金	△1,620	△1,610
支払利息	6,079	5,512
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△738
固定資産除売却損益 (△は益)	—	210
売上債権の増減額 (△は増加)	11,709	34,325
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30	28
前払費用の増減額 (△は増加)	6,995	3,804
未払金の増減額 (△は減少)	11,003	△22,401
未払費用の増減額 (△は減少)	△266	101
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,446	△231
未収入金の増減額 (△は増加)	64,657	300
仕入債務の増減額 (△は減少)	315	△2,336
その他	5,671	6,189
小計	112,257	45,652
利息及び配当金の受取額	1,602	1,595
利息の支払額	△6,408	△5,769
法人税等の還付額	10,451	—
法人税等の支払額	△4,535	△4,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,367	37,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,532	△9,224
無形固定資産の取得による支出	△1,175	△1,860
投資有価証券の売却による収入	—	15,560
敷金及び保証金の回収による収入	14,013	—
貸付金の回収による収入	5,935	12,080
定期積金の預入による支出	△3,000	△3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,241	13,556

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,000	1,000
長期借入金の返済による支出	△11,828	△14,880
自己株式の取得による支出	△47	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,875	△13,936
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	102,733	36,654
現金及び現金同等物の期首残高	213,696	306,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	316,430	343,246

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本等の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注意事項、個別情報、補足情報等は第2四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。